

犯罪被害者支援条例施行！



2017年、2018年、2020年と議会の一般質問で制定を求めた犯罪被害者支援条例が昨年4月から施行されました。昨年は相談54件、4件にお見舞い金等が支給されました。そのなかには性犯罪被害者の方もいました。条例制定の際、性犯罪被害についてもしっかりと対象とするよう求め、実現し、本当に良かったと思います。市とは3年ごとの条例の見直しを約束していて、さらにこの条例に基づく支援がきめ細やかに被害者に寄り添ったものになるよう声を上げて参ります。

DV被害者支援は…相談共通シートの改善を求める

2019年の9月定例会の一般質問で相談共通シートの活用を求め実現し、昨年度からさいたま市はシートを活用していますが実績はゼロという悲しい結果でした。

そもそも、私がこのシートの活用を求めた目的は、被害者が何度も辛い経験を話さなくても済むように関係各課で共通認識するためでした。

ところが市が用意したシートは、被害者の自立目的で「あなたにはこうした支援が受けられる。何課と何課に行きましょう」的なご案内シートでした。心身ともに疲れ切っている被害者が、このようなシートを持ち各課に自分で行くことは困難です。改善を求め、市もこれからは「被害者が辛い経験を何度も話さなくて済むこと」を目的としたシートに変える約束をしました。



議案外質問
(まちづくり委員会)



西浦和駅・中浦和駅にホームドア設置を！

ホームから転落し尊い命を落とす事件が相次いでいます。JRは2031年度末までに埼京線、川越線、武蔵野線の全駅に設置すると発表しています。そこで、もっと早期に設置するよう、また、事故も起きていて相談も寄せられている西浦和駅と中浦和駅には特に早急に設置するようさいたま市からJRに要望するよう求めました。市は未設置駅への早期整備要望については毎年行っていてこれからも要望すると約束しました。

～水害に強いさいたま市をめざして～

9月議会の決算審査において、市は浸水被害を軽減するため、雨水管・雨水貯留施設の整備を進めたとありました。油面川排水機場が前倒しで整備完了し、新開小の校庭に貯留施設整備が決まっています。

校庭の貯留施設は、校庭に降った雨水をその場所にため込み外に流れないようにする効果があります。しかし、近隣からの雨水を流し込むわけではないので、浸水を防ぐには小さな効果しかないことが分かりました。そのため貯留施設を増やすことが求められます。

新開小に続き、栄和小・桜田2丁目公園に貯留施設整備決定

増やす検討はされたのか確認したところ、市も増やしていく計画で、栄和小、桜田2丁目公園に貯留施設整備が進められることが明らかになりました。

家庭でできる治水対策

雨水貯留タンクをご存じでしょうか。環境局が雨水の有効活用として補助金を出している戸建て住宅用のタンクです。これは浸水被害軽減にもつながります。さいたま市は設置費用の2分の1の補助(上限3万円)を実施しています。予算を増やすよう、そして補助率や限度額の引き上げなど今後も求めていきます。

コミュニティバスをもっと便利に！

今年度は「コミュニティバス等導入ガイドライン」の改定の年です。昨年度はさいたま市地域公共交通協議会における「コミュニティバス等導入ガイドラインの改定について」の会議が2回開催されました。

資料には「運行を100円や無料に値下げすべきではないか」「運行頻度を増やすべきではないか」「運行時間帯、曜日を拡大すべきではないか」という項目がありました。いずれも市民から強い要望がある項目です。市民の願いに沿った市民のためのバスになるよう引き続き声を上げて参ります。

市民の願いで住みよい桜区へ

要望



町谷本太線、町谷4丁目の交差点に横断歩道設置



町谷本太線と新開通りの交差点に右折信号設置



中島1丁目交差点にカーブミラーの設置

実現



下大久保ワークマン裏あたりに街灯設置



五関の危険な通学路の対策



浦和西警察裏辺りにカーブミラー

土合公民館にエレベーター設置を求める

大久保公民館にエレベーターが設置されました。次は土合公民館にエレベーターをつけましょう！

桜区にある5つの公民館のうち、土合公民館と栄和公民館にはエレベーターがありません。市は2017年に設置調査を実施していて、栄和公民館は残念ながらスペースがないために設置不可能という結果でした。土合公民館には設置が可能です。住民のみなさんが要望書を提出しました。私は紹介議員として同席させていただきました。



日本共産党 さいたま市議会議員

久保 みき

お問い合わせ
久保みき事務所：桜区道場3-15-20
TEL 048-762-8819
市議団控室
TEL 829-1811



さいたま市議団
ホームページ



さいたま市議団
YouTube



日本共産党さいたま市議団
さいたま市浦和区常盤6-4-4(さいたま市役所内)

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
ホームページ <http://www.jcp-saitama.jp/>

物価高・コロナ禍から命とくらしを守るさいたま市へ

9月議会に報告された2021年度決算は、コロナ禍のもとでも過去最高水準の大幅黒字になり、市民のために十分使われていないことが明らかになりました。さらに多額の基金残高も明らかに。私たちは、これらを物価高対策の財源に使い、市民生活と地域経済の支援をするよう提案しました。

2021年度決算は大幅黒字

一般会計 **73億円黒字**

財政調整基金
残高 **225億円**

水道会計 **52億円黒字**

国民健康保険基金 **9.5億円**

介護保険基金 **44.5億円**

以下の緊急対策を提案しました

給食費値下げなどくらし支援

中小業者支援給付金など
経済支援

水道料金値下げ

国民健康保険税値下げ

介護保険料値下げ



2023年度予算要望を提出

760項目

来年の予算がこれから本格的につくられます。日本共産党市議団は今後も続く物価高対策として公共料金や保険料を引き下げること、地域経済支援の実現などを求めました。あわせて市全体としてジェンダー平等や地球温暖化対策の視点を入れることも強調しています。

予算の使い方を大型開発優先、福祉・教育費の削減・抑制から、くらし最優先に変えることを求めます。

あなたの声を市政に届けて 令和3年度の実績 (2021年4月～2022年3月)

1 新型コロナ対策

- ワクチン接種予約の改善[コールセンターのフリーダイヤル化・回線増、ウェブ予約システム改修(医療機関の空き一覧掲示、1回目と同時に2回目の予約が可能に)]
- 保育士、小学校教員、幼稚園教諭、学童保育支援員などへのワクチン優先接種が実現
- 小規模企業者等給付金(10万円)の第3弾を実現
- 医療体制の拡充が実現

- 新型コロナ対策としての融資制度の継続が実現
- 子育て世帯への特別給付が受け取れなかった世帯に対し「支援給付金」の支給が実現

2 物価高騰対策

- 認可保育所への光熱費補助が実現
- 国の月次支援金を受給する人も小規模企業者等給付金を申請可能に
- 商店街街路灯全額補助の継続が実現
- 農業機械のリース制度について業者との調整が実施

3 誰もが暮らしやすい市政へ

- 学校トイレへの生理用品の配置、拡充を実現
- 「校則見直しプロジェクト」の実施継続
- オンライン学習通信費補助額が増額(年額12,000円→14,000円)
- 児童発達支援センターひまわり学園の通所日数や看護師増などの改善
- 障がい者の移動支援が拡充

- 市立ひまわり特別支援学校に高等部が増設へ
- 福祉避難所への直接避難が可能に
- 避難所の備品(ファミリーパーテーションや段ボールベッド・エアマット)拡充
- 市庁舎内のプラごみのリサイクルと実証実験を実現
- 市のCO₂排出削減目標(35%→46%)の引き上げ
- 生ごみ処理容器等購入費補助(コンポスト)の予算が増額
- 犬・猫の殺処分ゼロを達成
- ドッグランの「社会実験」が実現(浦和区三崎地区公園)
- ケアラー支援条例が制定
- 公民館のWi-Fi設置が5カ所から10カ所に増設

高校生までの医療費無償化を求める請願が不採択に

保健福祉委員会に「高校生までの医療費無償化に対する請願」が提出され、私たちは「東京23区をはじめ、政令市でも18歳まで医療費無償化の実施自治体が広がっている。本市でも実現を」と、採択を求めましたが、民主改革市議団、自民党市議団が反対して可否同数、委員長(自民党)が可否を決し、否決(不採択)となりました。大変残念ですが、引き続き、実現のために全力を尽くします。



採択を求めて討論するとうみ市議

徹底
解明!

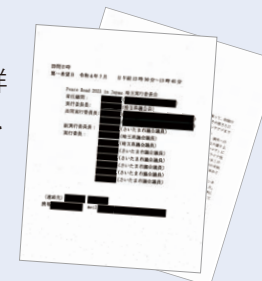
さいたま市と統一協会

8/22 党市議団として、市に対して統一協会とさいたま市の関わりを調査を依頼。

9/1 清水勇人市長が記者会見で、統一教会系イベント「ピースロード埼玉」から表敬訪問を受けたことを報告。その際、「調査の結果、2018～2021年まで4回表敬訪問を受けた」「地元議員から要請があった」と話す。

9/7 議長に対し、議員と同団体の関係を調査するよう働きかけることを要望。議長は「今後、大きな問題になれば検討する」と回答。

9/9 「ピースロード埼玉」の表敬訪問の詳細資料の提出を依頼。出された資料には、埼玉県議3名、さいたま市議6名の肩書が。しかし氏名は黒塗り。



9/13 たけこし連市議が代表質問。黒塗りで提出した理由や当該市議に資料請求時に連絡をしたかなどを追及。

9/14 読売、朝日、東京、埼玉の各メディアが代表質問を報道。

9/26 議長に対し、「議会として調査すべき」と再申し入れ。議長は「代表質問後、多くのマスコミが報道し、市民の関心も高まった。各会派に調査を要請したい」と回答。



議長へ申し入れ

9/29 議長の調査要請を受け、民主改革さいたま市議団の市議2名が、統一協会のイベントに出席していたことを公表。

10/3 議長が代表者会議において、各会派に統一協会との関わりについて調査を行うよう要請。しかし、さいたま市議会自民党議員団が調査を拒否。

10/19 中島隆一市議(中央区・自民党)が会見を行う。「イベントには行った。黒塗りの中に名前は記載されていない」と発言。

10/21 中島隆一市議が2度目の会見。「黒塗りの中に名前があることを議長に教えてもらった。勝手に書かれていたようで、自分は知らなかった」と発言。

10/28 党市議団が「議員と統一協会との癒着に関する緊急声明」を発表。

11/3 埼玉新聞が調査を行い「市議13名に関わりを認め、調査拒否7名、未回答3名だった」と公表。